



## 1) 全数報告の感染症(1類～5類)

滋賀県内の医療機関において、医師が感染症法で定められている一～四類および五類感染症に該当する患者を診断したとき医師は保健所に届出ることになっています。このことを全数報告といいます。届出により、滋賀県内で発生している感染症法で定められた一～四類および五類感染症を把握することができます。

感染症類型	疾患名	報告数 (41週)	累積報告数		平成16年報告数	
			滋賀 (41週)	全国 (41週)	滋賀	全国 <sup>(*)</sup>
1類感染症	報告なし	0	0	0	0	0
2類感染症	細菌性赤痢	0	<sup>(*)2</sup> 6	477	9	576
	腸チフス	0	0	43	2	66
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	0	12	3,021	21	3,640
4類感染症	E型肝炎	0	0	<sup>(*)3</sup> 34	1	34
	A型肝炎	0	1	<sup>(*)3</sup> 144	0	136
	オウム病	0	1	27	1	39
	デング熱	0	1	58	2	45
	マラリア	0	0	53	2	73
	レジオネラ症	0	2	194	0	162
5類感染症	アメーバ赤痢	0	4	556	8	580
	ウイルス性肝炎	1	2	227	5	299
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	2	122	0	167
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	0	46	1	53
	後天性免疫不全症候群	0	4	911	6	1,119
	ジアルジア症	0	<sup>(*)4</sup> 0	57	2	85
	梅毒	0	0	418	4	516
	破傷風	0	0	81	2	100
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	2	56	0	49
	急性脳炎	0	2	<sup>(*)3</sup> 149	1	164

- \* 1: 平成16年報告数の全国報告数は、滋賀県で報告された疾患を対象としています。
- \* 2: 検疫法第26条の3に基づく検疫所長から滋賀県知事への通知分2件を含みます。
- \* 3: 平成17年第39週現在の報告数です(iDWR掲載の報告数を参考にしています)。
- \* 4: 先週、届出のあった1名については届出が取り消されたため、滋賀県における報告はありません。

### 全国における全数報告感染症の発生状況 - iDWR2005年第39週、9/26～10/2より -

1類感染症: 報告なし	4類感染症: つつが虫病 1例	5類感染症: 劇症型溶血性レンサ球菌感染症 2例
2類感染症: コレラ 7例	デング熱 1例	レンサ球菌感染症 2例
細菌性赤痢 21例	マラリア 2例	後天性免疫不全症候群 8例
腸チフス 1例	レジオネラ症 6例	ジアルジア症 1例
パラチフス 1例	A型肝炎 2例	髄膜炎 1例
3類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症 83例	5類感染症: アメーバ赤痢 12例	梅毒 4例
	ウイルス性肝炎(B型) 1例	破傷風 1例
	"(C型) 2例	バンコマイシン耐性腸球菌感染症 1例
	クロイツフェルト・ヤコブ病 2例	急性脳炎 3例

## 2) 定点把握の対象となる5類感染症

感染症発生動向調査事業に係る報告のために、滋賀県が指定した「指定届出機関」を定点医療機関(定点)といい、その定点から報告される感染症です。また、定点当たり患者数とは、一週間を単位として一カ所の定点から何人の患者が報告されているかを示したものです(患者報告数/定点医療機関数)。

例えば、一つの疾患(インフルエンザ等)について、一週間に53カ所の定点から総数53人の報告があれば、定点当たり患者数は1.00となります。  
\* 疾患により定点数は異なります。

### (1) 疾病別・週別発生状況(第36～41週、9/5～10/16)

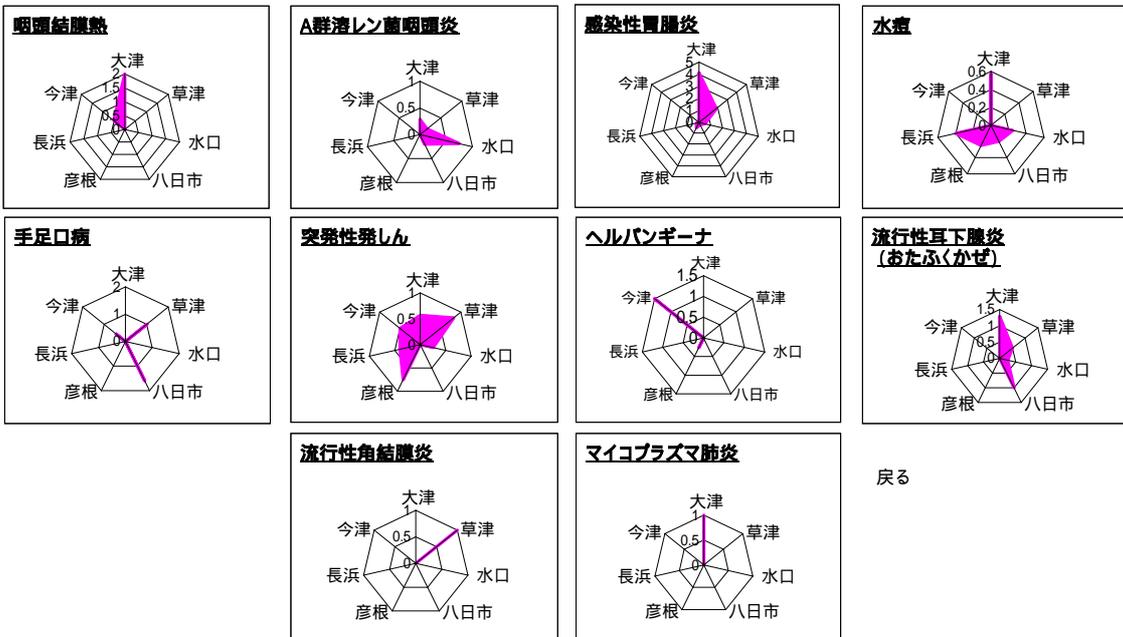
疾患名	定点当たり患者数 (前週より増加)					前週と同じ					前週より減少				
	36週	37週	38週	39週	40週	41週									
	(9/5～)	(9/12～)	(9/19～)	(9/26～)	(10/3～)	10/10～	37	38	39	40	41				
インフルエンザ	0	0	0	0	0	0									
RSウイルス感染症	0	0	0	0	0	0									
咽頭結膜熱	0.70	0.64	0.61	0.30	0.48	0.45									
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.18	0.33	0.21	0.48	0.18	0.21									
感染性胃腸炎	1.36	1.94	1.33	1.67	1.52	1.39									
水痘	0.45	0.61	0.73	0.55	0.21	0.27									
手足口病	1.12	1.21	1.00	0.64	0.42	0.45									
伝染性紅斑(リンゴ病)	0.06	0.06	0.03	0.03	0.09	0									
突発性発疹	0.64	0.70	0.52	0.52	0.61	0.48									
百日咳	0.03	0	0	0	0	0									
風しん(三日はしか)	0	0	0	0	0	0									
ヘルパンギーナ	1.06	1.00	0.67	0.27	0.12	0.12									
麻しん(成人麻しんを除く)	0	0	0	0.03	0	0									
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	0.91	0.64	0.52	0.88	0.73	0.55									
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0									
流行性角結膜炎	0.43	0.57	0.14	0.43	0.14	0.14									
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0									
無菌性髄膜炎	0.43	0.14	0	0.29	0	0									
マイコプラズマ肺炎	0	0.14	0	0	0.14	0.14									
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0									
成人麻しん	0	0	0	0	0	0									

(2)疾病別・保健所管内別発生状況(第41週、10/10～10/16)

疾患名	定点当たり患者数(県・保健所管内別)								疾患別発生状況(県全体)		
	県	大津	草津	水口	八日市	彦根	長浜	今津			
インフルエンザ	0	0	0	0	0	0	0	0			
RSウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0			
咽頭結膜熱	0.45	2.00	0	0	0	0	0	0.50			
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.21	0.29	0.17	0.75	0.20	0	0	0			
感染性胃腸炎	1.39	4.14	1.83	0.50	0.20	0.50	0.20	0			
水痘	0.27	0.57	0	0.25	0.20	0.25	0.40	0			
手足口病	0.45	0	1.00	0	1.60	0	0	0.50			
伝染性紅斑(リンゴ病)	0	0	0	0	0	0	0	0			
突発性発しん	0.48	0.57	0.83	0.25	0	0.75	0.40	0.50			
百日咳	0	0	0	0	0	0	0	0			
風しん(三日はしか)	0	0	0	0	0	0	0	0			
ヘルパンギーナ	0.12	0	0	0	0	0.25	0	1.50			
麻しん(成人麻しんを除く)	0	0	0	0	0	0	0	0			
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	0.55	1.29	0.50	0.25	1.00	0	0	0			
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0			
流行性角結膜炎	0.14	0	1.00	0	0	0	0	0			
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0			
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0			
マイコプラズマ肺炎	0.14	1.00	0	0	0	0	0	0			
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0	0	0			
成人麻しん	0	0	0	0	0	0	0	0			

0 0.5 1 1.5  
定点当たり患者数(人)

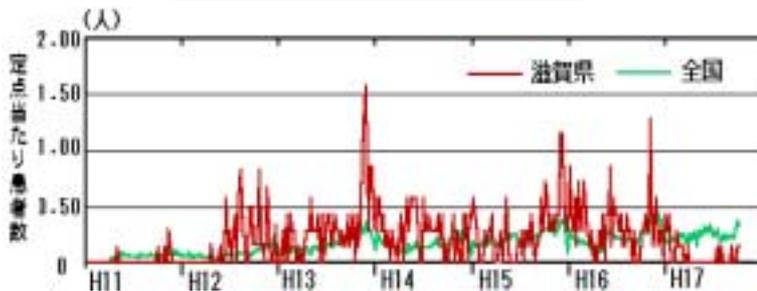
疾患別・保健所管内別発生状況(定点当たり患者数)



今週の発生状況:

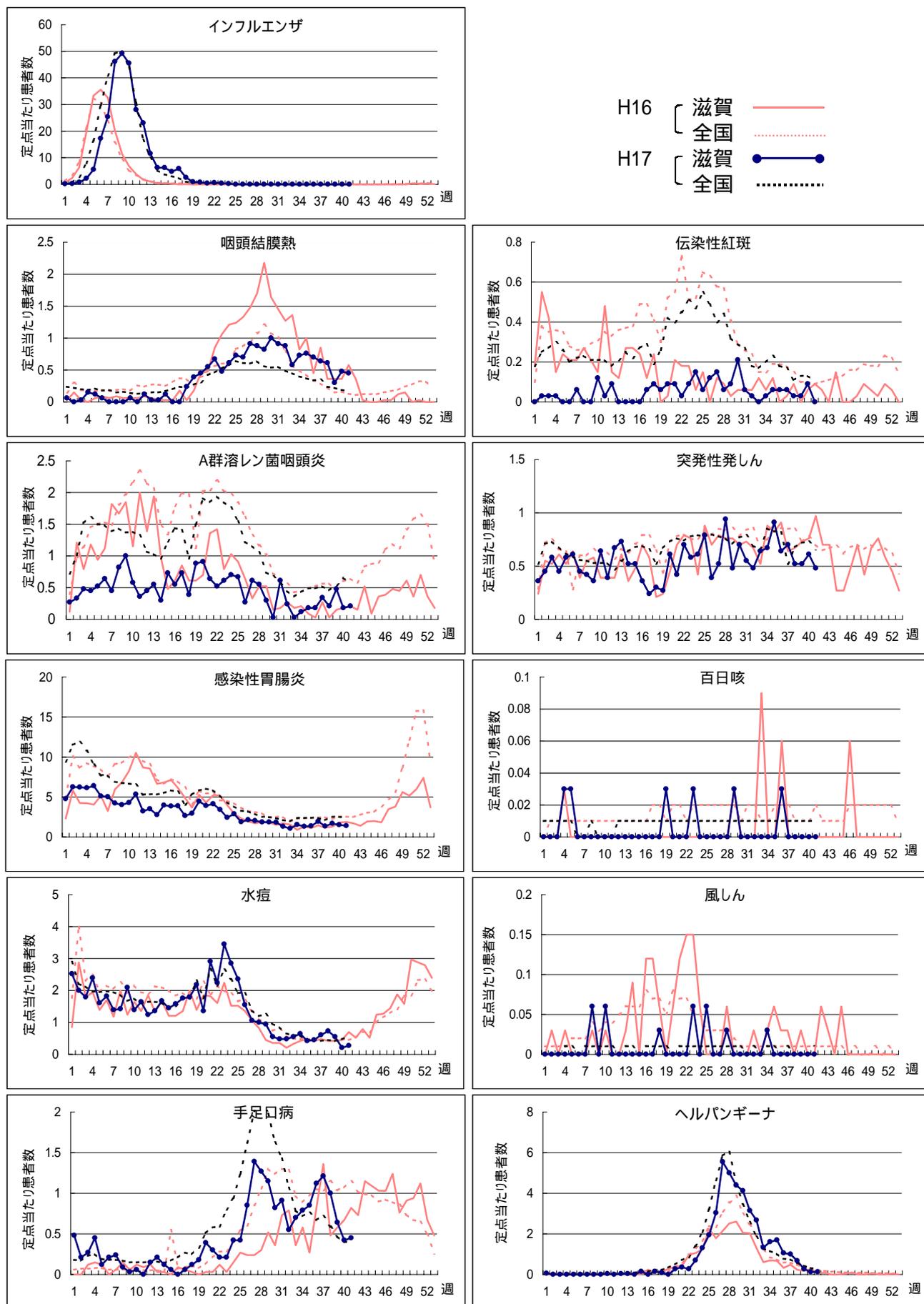
保健所管内別の定点当たり患者数は上記のグラフのとおりです。感染性胃腸炎は先週に引き続き大津で多くなっています。流行性耳下腺炎は大津および八日市でやや多くなっています。また、流行性角結膜炎は草津から、マイコプラズマ肺炎は大津から報告されています。マイコプラズマ肺炎の発生は今後多くなる傾向があるため、感染予防についての注意が必要です。

マイコプラズマ肺炎の年別発生状況(平成11年第14週～平成17年第41週)



平成17年の全国における発生状況は、過去5年間の同時期より多くなっています。また、都道府県別の発生状況についてみると、石川県および山口県で多くなっています。

# 疾病別定点当たり患者数(平成17年第1週～第41週、H17.1.3～H17.10.16)



# 疾病別定点当たり患者数(平成17年第1週～第41週、H17.1.3～H17.10.16)

H16 〔 滋賀 ———— 全国 ..... 〕  
 H17 〔 滋賀 ●——● 全国 ..... 〕

